

東日本大震災から10年 東北のいま

オンライン写真展

<https://tocho-fukko-10.com/>

開催日程 2021.2/11(木) ▶ 3/14(日)



福島県新地町
遊海しんち



岩手県宮古市
高台の新しいまち



福島県富岡町
さくらモール とみおか



岩手県宮古市
造成中の様子



宮城県気仙沼市
東日本大震災遺構・伝承館



■主催 / 東京都
■後援 / 岩手県、宮城県、福島県

オンライン写真展のご案内

岩手県、宮城県、福島県での復興の歩みや、
震災の教訓を伝える取組を、
スマートフォンやPCから、どなたでもご覧頂けます。



旧防災対策庁舎(宮城県南三陸町)



大熊町役場(福島県大熊町)



水道現地視察(岩手県)

東京都の支援

全国各地より救出救助や復旧の支援が行われる中、東京都においても、被災地が求める物資の搬送や応援職員の派遣を実施しました。今日まで、都は延べ3万人を超える職員を派遣しており、様々な分野で被災地の復興事業を支援しています。

発災から復興への歩み

被災した地域の復興は、東日本大震災レベルの災害に対する防御を念頭に進められました。例えば、津波被災地域では、住宅を低地から高台へ集団移転することで、津波や高潮から人命や財産を守ります。復興事業は、計画づくりから住民の意向が反映されています。

東日本大震災概要

東日本大震災の規模や被害の状況、被災から復旧・復興へ向けた被災地の歩みを紹介します。

賑わいの再生

生活を支える商店の再開は、被災された方々の強い希望でした。早い時期から、広場等で復興市が開催されるなど、商業活動が行われました。復興初期は、イベント形式やコンテナなどを活用した仮設商店街が、その後の復興まちづくりにおいては本設商店街が新たな賑わい創出の役割を果たしています。

未来につなぐもの

復興まちづくりの進展に伴い、人々の日常やコミュニティが取り戻されています。地元では、震災により途絶えていた行事が再開されるとともに、震災と復興を通して得られた貴重な教訓を後世に伝えていくための取組や、伝承施設の整備が進められています。



チリから贈られたモアイ像
(宮城県南三陸町)



津波の教訓を刻む石碑
(宮城県女川町)



東京都総務局復興支援対策部

@tocho_fukko

公式Twitterのフォローをお願いします!



◆お問い合わせ先◆

東京都総務局復興支援対策部
都内避難者支援課

TEL. **03-5388-2384**

(注意事項) ※内容は変更となる場合があります。 ※写真やイラストは全てイメージです。



リサイクル適性 **A**
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。